

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立金泉中学校

4月に文部科学省による全国学力・学習状況調査を実施しました。これは義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、改善を図ることが目的です。学校においては、児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることやこれらの取組を通じて、教育に関する継続的な検証・改善を確立することを目的としているものです。

結果を基に、本校生徒の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせします。

■ 調査期日

令和5年4月18日（火）

■ 調査の対象学年

中学校3年生

■ 調査の内容

(1) 教科に関する調査

〔国語、数学、英語〕
<ul style="list-style-type: none">・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容・実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などにかかわる内容・様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容

(2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況、児童生徒の体力・運動能力の全体的な状況等に関する調査

■ 調査結果及び考察について

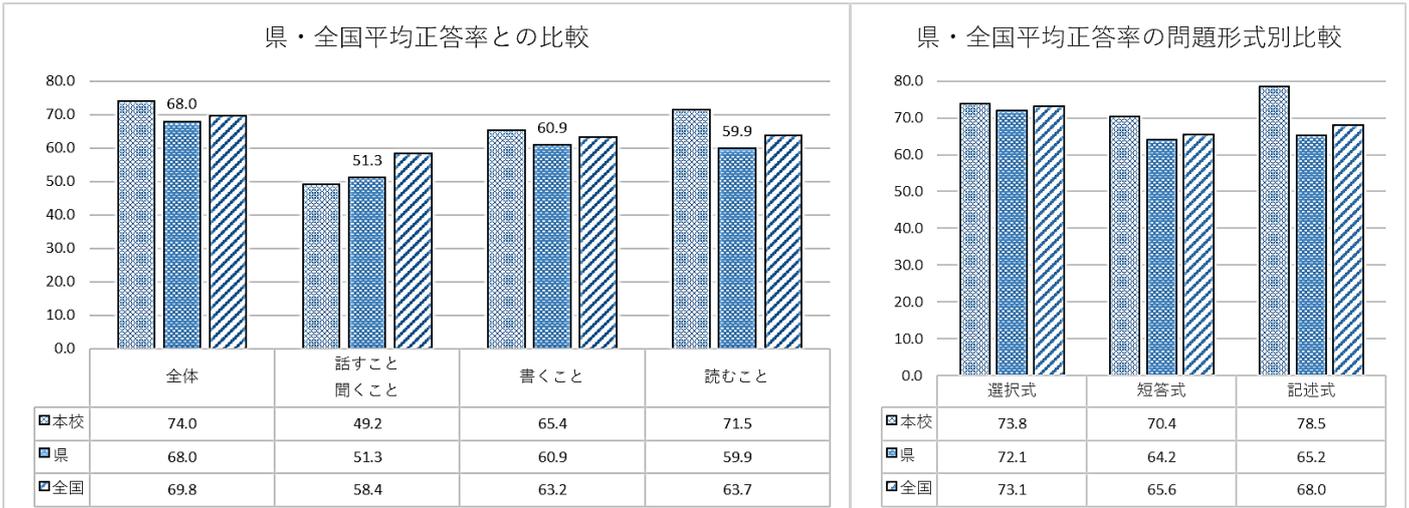
全国学力学習状況調査は中学3年生が対象であり、教科は国語・数学・英語に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野（問題）です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり「学校教育活動の一側面」であることをご了承のうえ、ご覧ください。

1 国語

(1) 結果

領域別結果

問題形式別結果



(2) 考察

全体の平均正答率では、県と全国を4.2ポイント上回る結果であった。領域別では、知識・技能の「情報の扱い」「我が国の伝統文化」、思考・判断・表現の「書くこと」で全国の平均を上回っているものの、知識・技能の「言葉の特徴や使い方」においては全国を、思考・判断・表現の「話すこと・聞くこと」「読むこと」においては全国と県の平均を下回っている。また、問題形式別では、選択式で全国の平均を上回り、短答式と記述式では全国と県の平均を下回っている。

<話すこと・聞くこと>

話の内容を捉え、知りたい情報との関係について理解しているかを問う問題、聞き取ったことをもとに、目的に沿って自分の考えをまとめる問題において、全国平均、県平均ともに上回っているが、目的や場面に応じて質問する内容を検討することができるかを問う問題において、全国平均を1.3ポイント下回っている。インタビュー全体と部分の関係に着目することや、相手に伝わる効果的な表現の工夫に課題がある。

<書くこと>

自分の考えが伝わる文章になるように根拠を明確にして書く問題において、県平均を4.2ポイント、全国平均を1.8ポイント上回っている。資料の一部から必要な情報を引用し、自分の主張の説得力を強める根拠とすることができている。

<読むこと>

文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする問題において、全国平均を18.7ポイント上回っている。文章全体を捉えたうえで、自分の知識や経験と結び付けて考えることができている。

<言語についての知識・理解・技能>

歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す問題や古典の原文と現代語の文章とを対応させて内容を捉える問題において全国平均、県平均ともに上回っている。しかし、文脈に即して漢字を正しく書く問題において、0.8ポイント下回っている。漢字の読み・書きの曖昧さが未だ課題である。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

文学的な文章読の読解において、文章全体と部分の関係に気を付けながら、描写を基に心情や人物相互の関係の変化を捉えるような単元を設定して学習に取り組みます。

【家庭では】

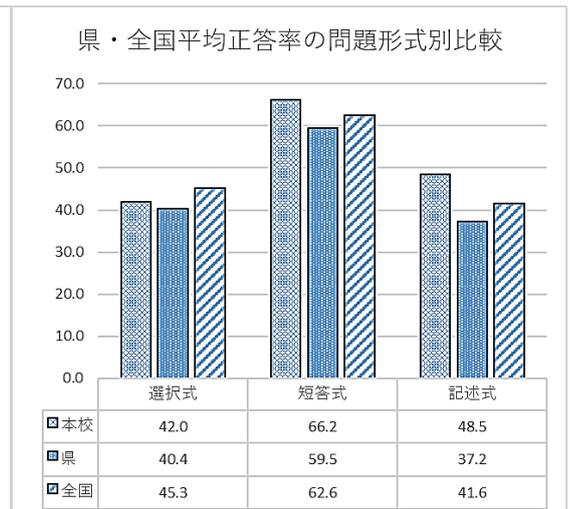
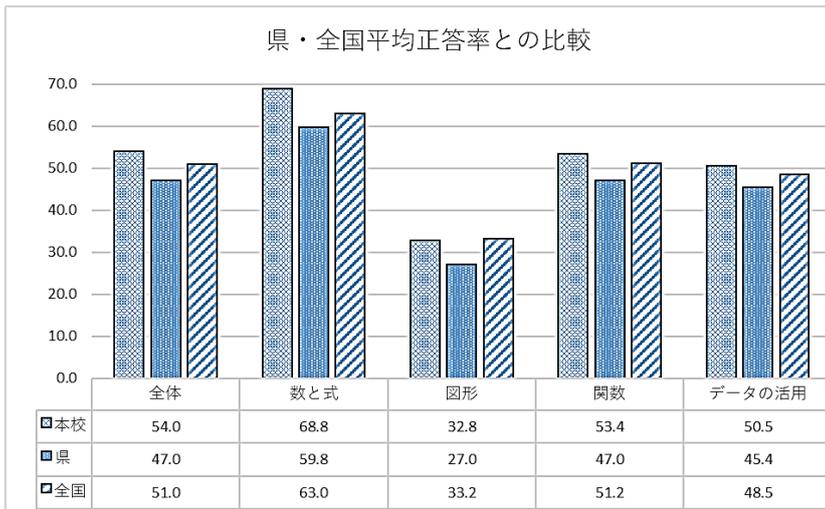
長文読解の問題に多く取り組むことで語彙を獲得し、文章理解力や記述力を伸ばしてほしいと思います。

2 数学

(1) 結果

領域別結果

問題形式別結果



(2) 考察

領域別でみると、図形の領域においては全国平均を0.4ポイント下回っており、その他の領域は県、全国平均ともに上回る結果となった。学習してから時間がたっている内容の問題の正答率が低くでており、基本的な内容がまだ十分に定着していないことがわかる。また、2年時に実施された佐賀県学力状況調査では佐賀県平均を下回っていた記述式の問題の正答率が佐賀県に比べ10ポイント以上高くなっている。

数と式

数と式の領域すべての問題で、全国平均を上回っていた。特に、事柄が成り立つ理由を説明する問題では、正答率が15ポイント程度上回っていた。数学用語や意味の理解はもう一度見直す必要がある。

図形

図形の領域では、全国平均を下回る問題が2問あった。図形の基礎的な知識技能が定着していない。特に、空間における平面が1つに決まる場合についての理解が低く、全国平均を6ポイント程度下回っている。

関数

事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する問題では、全国平均より10ポイント程度高く、グラフから必要な情報を適切に読み取る力が高いことがわかる。

データの活用

四分位範囲の意味を問う問題やデータの分布の傾向を説明する問題では、正答率が全国平均を7ポイント以上超えている。複数のデータを読み取る力が高いことがわかる。しかし、累積度数の問題では、全国平均を15ポイント近く下回っている。基礎的な問題であるので、反復練習が必要であることが分かる。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 基礎的・基本的な学習内容の問題を繰り返し取り組ませ、定着を図っていきます。
- 個々のつまづきを見つけ、その場での補充指導を行います。
- 授業において、発言や発表をする場を増やしたり記述式の問題に取り組みせる回数を増やしたりして、自分の考えを文章や言葉で表現する力を身につけさせます。

【家庭では】

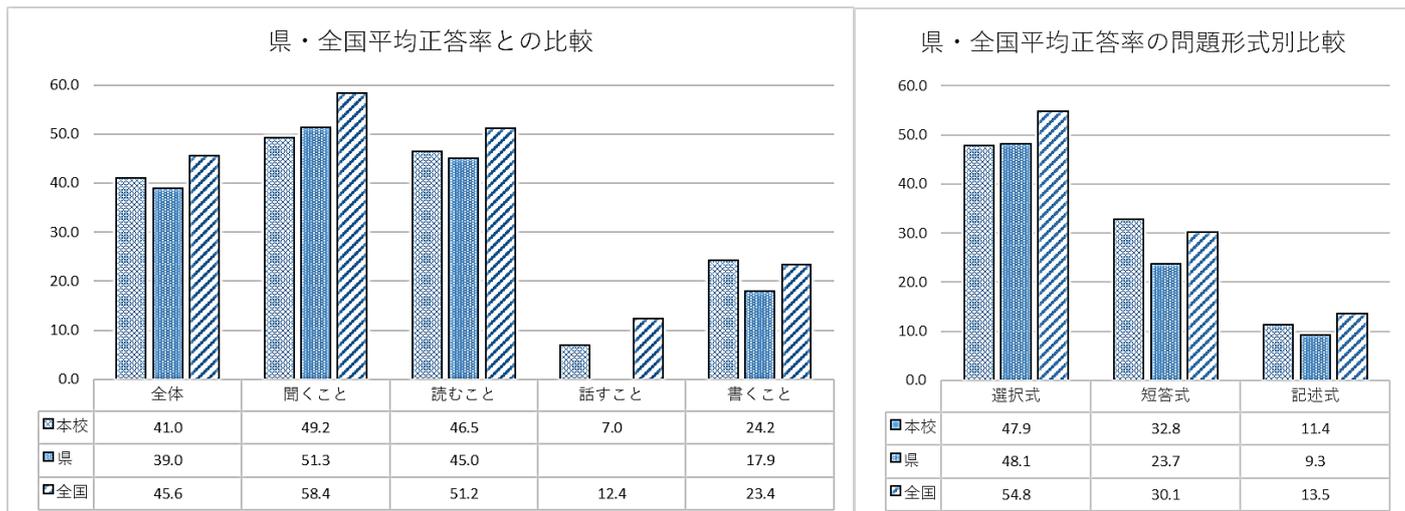
- 受験教科であるために、毎日の学習が必要です。課題プリントや補充プリントで3年生の内容を復習させるとともに1、2年生の内容も復習するように手立てをとっていきますので、励ましの声かけをお願いします。

3 英語

(1) 結果

結果

問題形式別結果



(2) 考察

全体の平均正答率では、県を2.0ポイント上回り、全国を4.6ポイント下回る結果となった。領域別で見ると、「聞くこと」「読むこと」「話すこと」においては全国を下回っていた。「書くこと」においては、全国平均を上回ってはいたものの、正答率が低く、さらに無解答のものも多かった。

聞くこと

リスニング問題については、6問中5問が全国の正答率を下回り、低いものでは17.2ポイント下回っていた。短い英文や対話文を聞き、その中から必要な情報を正確に聞き取ることに課題がある。

読むこと

「読むこと」においては、全国の平均正答率より4.6ポイント下回る結果となった。英文を読み、その概要や要点をつかむこと、またメールや広告を読み、正確に情報を読み取ることに課題がある。一方で、「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことはできている。

話すこと

今年度、初めての取り組みで「話すこと」についての試験が実施された。生徒が各自PCを使って解答していくが、まず設定やマイクに向かって話すことに慣れていなかった。全国平均正答率と比較すると、5.4ポイント下回っている。特に、自分の意見や考えを理由も含めて述べる問題において正答率が低かった。なお、全国平均の正答率が12.4となり、問題の設定については、検証の余地があるのではないかと考える。

書くこと

「書くこと」においては、全国を0.8ポイント、県を6.3ポイント上回る結果となった。特に、夏休みの予定を尋ねられる問題では、時制を読み取り、動詞を正しい形に変化させて、会話を成り立つように英語を完成させることができている。しかし、記述式では無解答率も高くなる傾向があり、社会的な話題に関して自分の考えとその理由を書く問題については、特に無回答が多かった。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 基礎的・基本的な学習内容の問題を繰り返し取り組ませ、定着を図っていきます。
- 授業において、自分の考えや意見を文章にする力を身につけさせるような課題の設定をしていきます。

【家庭では】

- 英語は積み重ねの教科です。3年生の内容の復習と同時に、1、2年生の内容も復習することが大切です。1、2年生の学習内容についても宿題等で復習するよう手立てをとっていきます。

4 生活習慣や学習習慣に関する調査

(1) 結果 《生活習慣・協調性・規範意識》

調査項目	本校 %	全国平均 %	全国との差
朝食を毎日食べていますか	91.0	91.2	-0.2
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。	80.3	78.0	+2.3
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。	95.4	91.3	+4.1
平日、10分以上読書をしますか。	71.2	49.4	+21.8
新聞を週に1～3回程度読んでいますか	1.5	8.1	-6.6
人が困っているときは、進んで助けていますか	95.5	88.1	+7.4
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	98.5	95.5	+3.0

「朝食の摂取率」「起床時間の固定」については全国平均と比較してもほとんど差がなく、9割以上の生徒が、規則正しく起き、朝食を食べることができていることが分かる。本校では時間的な余裕をもって登校している生徒が多いことにつながる結果だと考えられる。しかし、就寝時間については全国との差は大きくはないが、2割の生徒が不規則であり、その原因として、学習塾や習い事に通う生徒の増加や就寝前のゲーム・スマホ時間が影響していると考えられる。「読書時間」は全国平均を大きく上回り、全校で取り組んでいる「朝読書」が生徒にとっては貴重な読書時間となっている。反対に、「新聞の購読率」は全国平均と比べても低い傾向にあった。

「協力しようとする意識」、「協調性」を問う調査項目については9割を超える高い結果だった。また、いじめに関してもいじめを許さない、生徒がほとんどであり、本校生徒が道徳心を育てていることがうかがえる。

《家庭学習について》

調査項目	本校 %	全国平均 %	全国との差																					
家で自分で計画を立てて勉強をしている（授業の予習・復習）	45.4	55.0	-9.6																					
平日、どのくらいの時間、勉強しますか (学習塾等も含む)	<table border="1"> <caption>平日の勉強時間分布比較</caption> <thead> <tr> <th>時間区分</th> <th>金泉中3年 (%)</th> <th>全国 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3時間以上</td> <td>15.5</td> <td>10.3</td> </tr> <tr> <td>2~3時間</td> <td>16.7</td> <td>23.4</td> </tr> <tr> <td>1~2時間</td> <td>54.5</td> <td>32.1</td> </tr> <tr> <td>30分~1時間</td> <td>18.2</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>30分未満</td> <td>6.1</td> <td>9.9</td> </tr> <tr> <td>0分</td> <td>3</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>			時間区分	金泉中3年 (%)	全国 (%)	3時間以上	15.5	10.3	2~3時間	16.7	23.4	1~2時間	54.5	32.1	30分~1時間	18.2	18	30分未満	6.1	9.9	0分	3	6
時間区分	金泉中3年 (%)	全国 (%)																						
3時間以上	15.5	10.3																						
2~3時間	16.7	23.4																						
1~2時間	54.5	32.1																						
30分~1時間	18.2	18																						
30分未満	6.1	9.9																						
0分	3	6																						
休日、2時間以上勉強をしている（学習塾等も含む）	37.9	40.0	-2.1																					
学習塾や家庭教師の先生に教わっている	22.7	60.0	-37.3																					

平日、家庭での学習を2時間以上取り組んでいる生徒の割合が全国と比べ金泉中3年は低い結果となった(-15.5%)。休日に2時間以上家庭学習に取り組んでいる生徒の割合も低く(-2.1%)、家庭学習に取り組む意識が低いことが分かる。家庭学習を計画立てて行う生徒の割合も5割に満たない。学習塾等が近くにないためか、利用している生徒の割合も低い(-37.3%) 金泉中3年は全生徒が高校進学を志望しており、今後、高校入試に向けて計画的な学習が必要だと言える。

(2) 改善に向けての取り組み

【学校では】

- 各教科の授業では『学び合い』やグループ学習、ペア学習を通して、インプットとアウトプットを繰り返しながら、基礎的・基本的な学習内容の定着や意見交換を行っています。また、自己変容が分かる授業の振り返りを通して、家庭での復習や弱点補強に繋がっています。
- 学校行事や生徒会活動では、出番・役割に挑戦し、承認し合う関係づくりに取り組んでいます。

【ご家庭では】

- 家庭学習においてはお子さんへの「できたところ」、「頑張ったところ」の承認や声かけ、励ましをお願いします。高校入試に向けて、家庭学習時間の確保のため、テレビやSNS等の使い方や使用時間についても話し合いをしてください。